

令和5年度(令和6年度実施)事務事業評価

事業整理番号	0905	- 20
--------	------	------

事務事業名	自転車駐車場管理運営事業経費	担当組織	都市整備部	土木管理課
-------	----------------	------	-------	-------

事業特性												
	事業開始年度	30年度以前	事業終了年度		計画ノ一般	一般	計画事業No.	6	—	3	—	2
	単独ノ補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託	関連するSDGsゴール			9	11	17		
事業を構成する予算事業	①	自転車駐車場管理運営経費			②	登録制自転車置き場経費						
	③	南長崎スポーツ公園管理運営経費			④							
	⑤				⑥							

政策体系(令和5年度基本計画)												
地域づくりの方向	人間優先の基盤が整備された安全・安心のまち				政策	魅力を支える交通環境づくり						
施策	自転車利用環境の充実				政策番号	6-3-3						
関連する個別計画	第二次豊島区自転車等の利用と駐輪に関する総合計画				計画策定年度	令和4年度	計画期間	5年				

1. 事業の概要・指標の達成状況

(1)実施の対象 (具体的に記載)		区民・来街者・自転車等利用者							
(2) 事業の目的・期待する効果		自転車駐車場の利用を促進することにより、自転車を利用しやすい環境を整備するとともに放置自転車を抑制させる。							
(3)事業概要		自転車駐車場及び登録制置場を適切に管理することにより、自転車利用者の利便性を向上させる。							
4 目標の達成状況	5年度の取組内容 5年度に実施した具体的な業務内容	●指定管理施設の収支改善、巣鴨地区指定管理者公募準備、財政援助団体監査 巣鴨地区(令和2年度～令和6年度):巣鴨4箇所、駒込、西巣鴨、目白地区(平成31年度～令和5年度):目白3箇所、千登世橋 ●自転車駐車場金銭出納及び管理運営業務受託者(シルバー人材センター)の実地検査の実施 ●子乗せ電動自転車(大型自転車)等の思いやりゾーンの設置拡大							
	成果指標 事業目標の達成度	成果指標	目指す方向性	単位	4年度 (実績)	5年度 (計画) (実績) (達成率)		6年度 (計画値)	
		① 自転車駐車場利用率	↗	%	107	115	109	94.8	115
		② 登録制置場利用率	↗	%	99	105	103	98.1	105
		③ 放置自転車台数	↘	台	431	410	623	48.0	410
	指標の説明	①自転車駐車場(条例施設)の延べ利用台数を延べ収容台数で除したもの。②登録制自転車置き場(要綱施設)の延べ利用台数を延べ収容台数で除したもの。③10月中、晴天の平日のうち任意の一日、概ね午前11時頃の豊島区内全駅周辺における自転車の放置台数。							
達成状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナの影響が若干残っていると考えられるため。						
5 取組実績	活動指標 事業の実施状況	活動指標	目指す方向性	単位	4年度 (実績)	5年度 (計画) (実績) (達成率)		6年度 (計画値)	
		① 自転車駐車場延利用者数	↗	人	2,431,174	2,350,000	2,515,269	107.0	24,500,000
		② 登録制置場利用者数	↗	人	52,212	60,000	53,414	89.0	60,000
		③							
	指標の説明	①自転車駐車場(条例施設)の定期及び当日利用者。②登録制自転車置き場(要綱施設)の定期及び当日利用者。							
	達成状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナの影響が若干残っていると考えられるため。					

2. 事業費の推移									
単位 〔 金額の項目:千円 人数の項目:人 〕		4年度		5年度			6年度		
		予算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R5決算比)	
事業費		A	473,987	465,992	485,817	474,256	97.6%	509,367	35,111
財源内訳	国、都支出金	B	0	0	0	0			0
	使用料・手数料		234,051	235,679	234,051	240,191		240,059	-132
	地方債・その他		51,274	48,775	50,274	48,441		50,306	1,865
	一般財源	C=A-B	—	181,538	—	185,624		219,002	33,378
正規職員人数※小数点第1位まで			1.3	名	1.5	名		3.0	名
会計年度人数※小数点第1位まで			2.0	名	2.0	名		1.0	名

3. 総合評価及び令和6年度以降に向けての対応・改善策

(1)令和5年度成果と課題	【指標の達成状況(a)】 →S、A、B、C、Dの5段階で評価	B	根拠	新型コロナ5類移行などの社会状況の変化により自転車利用台数が回復してきており、相当程度の達成率となった。																																				
	※上記の達成状況を踏まえ、評価及びその根拠を記載してください。 ※以下の欄には、①目標に対する成果結果の課題、②指標以外の数値では測れない効果について記載してください。																																							
	①目標に対する成果状況を踏まえた課題 利用者の更なる利便性向上を図る利用方法の拡大、導入 ②指標に表れない事業の成果(指標以外の成果) 子乗せ電動自転車置場等の置場エリアの拡充																																							
(2)業務(事務)改善にむけての取り組み	【業務(事務)改善に向けての取り組み(b)】 S、A、B、Cの4段階で評価 →	A	根拠	キャッシュレス決済導入の決定																																				
	※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※昨年度に何らかの対応、改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。																																							
	①目標に対する成果状況を踏まえた課題(再掲) 利用者の更なる利便性向上を図る利用方法の拡大、導入																																							
	②現状の実施状況における所管課の認識																																							
	<table border="1"> <tr> <td>事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。</td> <td>有</td> <td>選択した理由</td> <td>自転車が多様化しているため、ラック等の更新が必要。</td> </tr> <tr> <td>直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。</td> <td>有</td> <td>選択した理由</td> <td>指定管理施設の導入等について比較検討している。</td> </tr> <tr> <td>サービスに係るコストは適正か</td> <td>適正</td> <td>選択した理由</td> <td>設備の修繕等、駐輪場の管理運営に必要なコストを最小限に抑制している。</td> </tr> <tr> <td>統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。</td> <td>無</td> <td>(有の場合)事業名</td> <td></td> </tr> </table>					事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。	有	選択した理由	自転車が多様化しているため、ラック等の更新が必要。	直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択した理由	指定管理施設の導入等について比較検討している。	サービスに係るコストは適正か	適正	選択した理由	設備の修繕等、駐輪場の管理運営に必要なコストを最小限に抑制している。	統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名																				
事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。	有	選択した理由	自転車が多様化しているため、ラック等の更新が必要。																																					
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択した理由	指定管理施設の導入等について比較検討している。																																					
サービスに係るコストは適正か	適正	選択した理由	設備の修繕等、駐輪場の管理運営に必要なコストを最小限に抑制している。																																					
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名																																						
③上記①、②を踏まえた所管課の対応実施状況																																								
<table border="1"> <tr> <td>対応、改善を既にを行った</td> <td>はい</td> <td>はい</td> <td>取組内容及び効果</td> <td>キャッシュレス決済導入の決定、事業者ヒアリング、指定管理制度の見直し。</td> <td>予算措置</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td colspan="7">はい・いいえどちらも (はいの場合は更なる対応・改善の予定)</td> </tr> <tr> <td>対応、改善の予定</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>対応、改善の予定がない理由</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>有</td> <td>対応、改善の内容</td> <td colspan="3">老朽化施設の更新と駐輪場使用料の精算方法の検証</td> <td>予定時期</td> <td>令和6年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>予算措置</td> <td>無</td> <td>有</td> <td>予算措置を伴わない実施との比較検討</td> <td>予算措置を伴う理由</td> <td></td> </tr> </table>						対応、改善を既にを行った	はい	はい	取組内容及び効果	キャッシュレス決済導入の決定、事業者ヒアリング、指定管理制度の見直し。	予算措置	有	はい・いいえどちらも (はいの場合は更なる対応・改善の予定)							対応、改善の予定	有	無	対応、改善の予定がない理由				有	対応、改善の内容	老朽化施設の更新と駐輪場使用料の精算方法の検証			予定時期	令和6年度		予算措置	無	有	予算措置を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由	
対応、改善を既にを行った	はい	はい	取組内容及び効果	キャッシュレス決済導入の決定、事業者ヒアリング、指定管理制度の見直し。	予算措置	有																																		
はい・いいえどちらも (はいの場合は更なる対応・改善の予定)																																								
対応、改善の予定	有	無	対応、改善の予定がない理由																																					
有	対応、改善の内容	老朽化施設の更新と駐輪場使用料の精算方法の検証			予定時期	令和6年度																																		
	予算措置	無	有	予算措置を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由																																			
(3)必要性/優先度	【区が実施する必要性(c)】 S、A、B、Cの4段階で評価 →	B	根拠	低額な利用料金により駐輪場の利用を促進し、放置自転車台数を減少させる。																																				
	※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。																																							
	①区が実施する理由(複数選択可)																																							
	<table border="1"> <tr> <td>区他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック</td> <td></td> <td>法律の要請を受けて行う事業である。</td> </tr> <tr> <td>民間事業者等に同様のサービスがない。</td> <td>○</td> <td>その他(理由) 低額な利用料金により駐輪場の利用を促進し、放置自転車台数を減少させる。</td> </tr> </table>					区他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック		法律の要請を受けて行う事業である。	民間事業者等に同様のサービスがない。	○	その他(理由) 低額な利用料金により駐輪場の利用を促進し、放置自転車台数を減少させる。																													
	区他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック		法律の要請を受けて行う事業である。																																					
民間事業者等に同様のサービスがない。	○	その他(理由) 低額な利用料金により駐輪場の利用を促進し、放置自転車台数を減少させる。																																						
②区民ニーズ																																								
<table border="1"> <tr> <td>区民ニーズを表す指標</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>指標番号(成果)</td> <td>①</td> <td>指標番号(活動)</td> <td>①</td> <td>サービス利用者数</td> <td>50名以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推移</td> <td>↗</td> <td>推移</td> <td>↗</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="9">有・無どちらも</td> </tr> <tr> <td>区民ニーズに対する認識</td> <td colspan="8">低額な利用料金により駐輪場の利用を促進することが、放置自転車台数を減少させることにつながる。</td> </tr> </table>					区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(成果)	①	指標番号(活動)	①	サービス利用者数	50名以上				推移	↗	推移	↗			有・無どちらも									区民ニーズに対する認識	低額な利用料金により駐輪場の利用を促進することが、放置自転車台数を減少させることにつながる。							
区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(成果)	①	指標番号(活動)	①	サービス利用者数	50名以上																																
			推移	↗	推移	↗																																		
有・無どちらも																																								
区民ニーズに対する認識	低額な利用料金により駐輪場の利用を促進することが、放置自転車台数を減少させることにつながる。																																							
総合評価(d)=a+b+c		ランク3																																						

4. 【前年度事務事業評価対象事業のみ】改善に向けた取組内容について			
(前年度事務事業評価表) 4「所管課の認識・R5年度以降の対応」を記載	新型コロナにより駐輪場の利用方法が変化しつつある中、指定管理者の収支改善と駐輪場のキャッシュレス化等利便性向上に向けた検討が必要である。		
上記の改善に向けて取り組んだ内容を記載(未着手の場合には理由を記載)	キャッシュレス決済、目白地区の駐輪場の指定管理者に対する指定管理料それぞれの導入を決定した。		
改善に向けた取組内容についての自己評価 (e)	予定通りに進んだ	根拠	指定管理者の収支改善、駐輪場のキャッシュレス化等利便性向上に向けた取組を実施した。

5. 令和6年5月末時点の状況	
①令和6年度当初の課題・ニーズ	駐輪場のあり方の検討
②国・都の動き(関係法令の改正・補助金の創設・方針の変更など)	なし
③令和6年度の方向性・取組方針(事業展開)	収支分析、他区調査 他区ヒアリング 他区状況分析 (公財)自転車駐車場協議会相談 まとめ
④令和6年度の事業進捗状況	上記取組を行うためのロードマップを作成
⑤区民等からの事業に対する意見・要望	区民より駐輪場の増設を求める要望が寄せられている
⑥上記⑤に対する対応	満車状態が多い駐輪場を利用する区民より上記要望が寄せられる一方で空き状態が目立つ駐輪場もあり、区全体の駐輪場の配置等について今後検討していく。

-----以降の項目は、評価内容を踏まえて管理職が記載してください-----

今後の事業費予算要望（f）	現状維持	根拠	現況の駐輪場を管理運営するために妥当な予算である。
今後の事業の方向性（d+e+f） （現状の評価および施策評価を踏まえた評価）	B	※eは該当の事業のみ加味	
上記判断と今後の事業の方向性を踏まえ、令和6年6月以降に向けての対応を記載（改善方法、課題への対応など）			
収支分析、他区状況分析、専門機関への相談等の取組を実施することにより、区全体の駐輪場あり方について検討が必要である。			